

==
==



== 全中連NET通信

==

∞∞∞ 2025.3.12 ∞∞

==

全国中小企業団体連合会（全中連）

〒102-0093

==

東京都千代田区平河町 1-5-3 大和屋第 2 ビル

==

TEL：03-3262-2001 FAX：03-3262-2054

==

e-mail：zen01@yacht.ocn.ne.jp

==

=====

《目 次》

第 4 回ブロック代表者会議開催される	2
吉田会長のブロック代表者会議冒頭のご挨拶	2
関東ブロック青年部 第 47 回定期総会を開催	4
最近の主な動き	4

第4回ブロック代表者会議開催される

第4回ブロック代表者会議が3月6日にZoomにて開催されました。

はじめに吉田忠智会長から挨拶がありました。(下段に内容を掲載)

続いて報告事項として、第38回中小企業問題研究集会の報告、各ブロックでの活動についての報告などがありました。北海道商工連盟は昨年創立50周年を迎えましたが、今年は協同組合の50周年になるので、ささやかな記念式典の開催を予定しているとの報告がありました。東北ブロックは昨年は一度も会合がもてなかったため、この代表者会議のあとに会議を開く予定であると報告がありました。関東ブロックではおもに青年部を中心に活発に活動が行われているとのことです。近畿ブロックからは事務局長の花垣さんが1月に急逝されたため、例年2月におこなわれていた、大阪国税局を訪問しての要望書の手渡しなどができなかったとの報告がありました。九中連では例年開催している税務・労務研修会が例年同様の参加者で行われたとの報告がありました。

その後、協議事項にはいり、全中連本部の事務所の移転について協議がおこなわれました。現在事務所のある建物が老朽化により本年3月中に退去することになりましたが、都心に予算に見合った条件のよい物件を見つけるのはかなり難しいので、事務的な仕事はメール等によってどこでも十分対応が可能であるため、当面は住所地を都心のどこかに確保して、その間に移転先について再検討していくこととなりました。

それまでに、それぞれのブロックでもあらたに体制を整えて、活動の活性化へ向けて取り組んでいくこととし、今後の日程については、特に従来の流れを変えることなく、例年に則して日程を組み、最も重要な活動方針や予算などは6月下旬に開催するブロック代表者会議で決めることとしました。

そのため6月分までの会費は現状のままでいくことが了承されました。



吉田会長の会議冒頭のご挨拶

日頃、厳しい状況にある中小企業のご支援や全中連の活動にご協力いただいている皆様に、全中連を代表して感謝申し上げます。

昨年の中研集会では、タイムリーな重要課題について研修されたようで、アンケート結果を見るとたいへん有意義な研究集会になったようであります。

昨年の10月27日に投開票がおこなわれた衆議院選挙では、社民党は現状維持でしたが、国民民主党は7議席から28議席へと4倍増と大きく躍進し、立憲民主党も98議席から50議席増やして

148議席まで増やしました。国民民主党は「103万円の壁」というわかりやすいキャッチコピーとSNSを駆使するなどして、若い人たちの支持を多く取付けたことで、今回の選挙戦術として大きく評価しているところです。立憲民主党は50議席増やしましたが、比例の得票では全国で7万票しか増えておりません。どちらかというと、自民党の敵失に救われたようなもので、まだまだ政権政党として有権者の信認を十分に得たとは言えない状況だと思います。

この選挙の結果、自公が過半数割れということになり、与野党逆転ということになりました。残念ながら野党の足並みがそろわず、石破総理が少数与党で続投ということになりまして、いま開かれている通常国会の衆議院では自公に加えて維新の会が予算案の賛成にまわって予算が通過しましたが、29年ぶり当初予算案の修正ということがなされました。自民党もなかなかしたたかでありまして、維新の会とは教育無償化、保険料の引き下げ、医療費の見直しなどについて、一定程度合意に至りました。国民民主党とのあいだでは、いわゆる「103万円の壁」という所得税の基礎控除の引き上げを中心とする協議がおこなわれましたが、所得ごとに上限額を決めるという大変わかりにくい案となり、結局国民民主党との合意には至らず、日本維新の会との合意をもって予算案に賛成することで、参議院に舞台を移しています。立憲民主党は総額3兆8千億円の修正案を提出いたしましたが、衆議院では否決されました。ガソリン税のいわゆる暫定税率の引き下げ、小中学校の給食費の無償化や、高額医療費の上限額の引き上げが大きな課題となっておりますが、立憲民主党としては対案を示して議論してきましたが、十分に納得の得られるものにはならないまま、参議院で議論が行われていくということでもあります。衆議院では与野党逆転となりましたが、参議院では依然として自公が多数を握っておりますから、次の7月に施行される参議院選挙が従前以上に極めて重要な意味を持っていると思っております。立憲民主党としても、社会民主党や国民民主党と協力して、次の参議院選挙で与野党逆転を果たして、その次の衆議院選挙では是非とも政権交代を果たしていきたい、そして長年の懸案である課題についても前進をさせていかなければならない、そして当たり前に政権交代ができる、日本の政治を変えてゆく大きなチャンスだと思っております。

私の地元の太田では太田市議会議員選挙がおこなわれまして、立憲民主党は6名の候補者全員が当選を果たしました。また連合の組織内候補や関係候補も全員当選しましたので、次の参議院選挙へ向けて太田でも弾みがついたと思っております。私も7月20日投開票が予想される参議院選挙へ向けて臨戦態勢で動いているところです。是非また国政に復帰して全中連の皆さんのお役に立てるようにしていきたいと思っております。

多くの課題があるなか、アメリカではトランプ大統領が返り咲きまして、関税がかけられることで自動車産業に甚大な影響がありそうで、とりわけカナダやメキシコで生産してアメリカに輸出している自動車メーカーでは、これからどんな影響がでてくるのか心配されます。自動車産業は非常に裾野の広い産業ですからかなり懸念されます。

ウクライナの問題も含め、日本をはじめEU諸国、オーストラリア、韓国などと連携をとって、トランプ包囲網をしっかりと作って、あまり勝手な動きをさせないようにしていかなければならないと思っております。

今日の代表者会議にあたりまして皆さんの忌憚のない意見を出し合って有意義な会議としていただきますようお願いし、私からの冒頭のご挨拶とさせていただきます。

関東ブロック青年部 第47回定期総会を開催

令和7年2月7日、東京都千代田区にて全中連関東ブロック青年部第47回定期総会を行いました。
当日は関東ブロック恩田会長をはじめ多くのオブザーバー、先輩方にもご出席をいただきました。
総会は滞りなく終了し、毎回恒例の研修会では若手のホープである川崎中小企業労務協会の栗原さんに今年の法改正の内容についてまとめてもらい、それをもとに想定される事例や対策を議論いたしました。テクノロジーの進化や世界情勢の目まぐるしい変化により労働環境が大きく変わっていく中、第一線で事業主と向き合う我々としては大変有意義な議論の場であったと思います。

終了後は恒例の懇親会が行われ、更に親睦を深めることができました。

(関東ブロック協議会青年部部長 村田 浩樹)

◎最近の主な動き

- 12月 5日 北海道商工連盟 交流晩会〔札幌〕
- 11日 九中連代表者会議〔熊本〕
- 2月 7日 関東ブロック青年部総会・研修会〔東京〕
- 14日 九中連税務・労務研修会〔熊本〕
- 3月 6日 第4回ブロック代表者会議〔Zoom〕